

平成30年度 第2回伊賀市図書館協議会議事録

開催日時 平成31年1月25日（金） 午前10時～11時30分

開催場所 ハイトピア伊賀 5階 学習室2

出席委員（8名） 柴田会長、石橋委員、吉澤委員、岩佐委員、上山委員、
長久委員、上田委員、竹島委員

欠席委員（2名） 松田委員、今高委員

事務局（9名） 笹原教育長、中林次長

いがまち図書室：伊藤館長、島ヶ原図書室：森嶋館長

阿山図書室：山本館長、青山図書室：円界館長、

大山田図書室：中原館長、上野図書館：中岡館長、森主査

傍聴者 1人

午前10時開会

1. 挨拶：笹原教育長

2. 議事

会 長）事項書に添って進める。協議事項（1）平成30年度図書館事業の進捗状況についてを議題とする。

－事務局より資料1～3を説明－

会 長）質問などはあるか。

委 員）資料2の読書感想文コンクールの応募状況だが、平成28年度、平成29年度に比べて減っているが、何か理由はあるか。

事務局）今回、高校生の応募がなかったことや、子どもの数が減っているということが理由として考えられる。また、指導者によっても違うと思われる。

委 員）応募数が年々減っていくのは残念なことなので、しっかり取り組んでほしい。

会 長）司書教諭の配置がどうなっているかなど、同時に考えた方がよい。

委 員）夏休みに合わせた応募期間で子どもに任せている学校が多いと思う。また、全国青少年読書感想文コンクールとの兼ね合いもあると思う。校長会でも学校で取り組む話を進めていきたいと思う。

会 長）資料3の学校セット文庫の運用についてであるが、今後の学校現場での活用の仕方を模索しながら運用した方がよい。

事務局）できるだけ学校と連携を取るため校長会などで諮りながら、様子を見ながら今後の運用内容を検討していく。

委 員）学校から図書館に借りにくる時間がなかなか取れないので、学校現場としては利用の幅が広がってありがたい。

会 長）過去に三重県教育委員会が同じような取り組みを東紀州で行っていた。紛失した場合などの対処などについて参考にするとうい。

委員) セット文庫について、まず小学校への取り組みということだが、今後、中学校への取り組みを考えているか。

事務局) 現在のセット文庫の内容が小学生向きであるので、小学校対象としている。中学生・高校生については今後の課題として検討していきたい。

委員) 上野高校の関係者に聞いた話であるが、夜間高校の生徒が夜、学校図書館に鍵がかかっているので利用できないとの話を聞いた。何か手立てがあるといいのだが。

事務局) 夜間高校担当教諭と情報共有はしている。一度訪問して図書館の利用について伝えさせてもらった。

委員) さまざまな立場の人が通っているので、何か方策があれば取り組んでほしい。

事務局) 利用について推進してもらえるよう案内を行っていく。

会長) 小学校・中学校まではいいが、高校はなかなか連携が取りにくい面もある。難しいところである。各学校での活用の仕方を調べるなどして、使い方の情報共有を諮ってもらいたい。

では、次に協議事項(2)平成31年度図書館事業の取り組みについてを議題とする。

—事務局より資料4～6を説明—

会長) 質問などはあるか。

委員) ボランティアグループのスキルアップ研修を、講師を招いて開催してくれていたが今年度からはボランティア自ら講師になって研修を行っている。ボランティア同士で交流しながら研修するのも大変大事であるが、絵本作家などの講師を招いた話なども聞きたいので、対象をボランティアに限らずそういった事業を開催することも考えていただきたいと思う。

委員) 平成31年度から司書と学芸員を併せ持つ職員を配置するとのことであるが、選考など大変だったのではないか。

事務局) 伊賀の歴史に詳しい方として専門性を絞った選考をした。

委員) 専門性の高い職員が配置されることはいいことだと思う。

事務局) 芭蕉翁記念館にも昨年から学芸員を採用して配置しているので、互いに交流し、協力しあって伊賀の歴史について広めていく取り組みを行っていきたいと考えている。

会長) 伊賀市独自の貴重資料を積極的に活用してもらいたい。

委員) 忍者・芭蕉などの歴史企画展示事業について、興味のない人も興味を持てるような、仕掛けを考えてもらいたいと思う。また、実施の際は広報・情報発信をしっかりと行ってほしい。

会長) 他に質問がなければ、協議事項(3)図書館の管理運営についてを議題とする。

—事務局より資料7を説明—

会 長) 質問などはあるか。

委 員) 特になし

会 長) 次に事項書3、報告事項・旧市役所南庁舎整備事業の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

—事務局より資料8を説明—

会 長) 今後の見通しはどうか。

事務局) 9月議会で実施設計費について否決されたが、市としては3月議会で再度理解を得たい方針だと聞いている。

委 員) 街の中心に大きな空き家を作ってどうなのかと危惧している。すべてが時間と経費の無駄だと思っている。図書館協議会として眺めているだけでいいのかと思う。何らかの意思表示を行ってはどうか。

会 長) 我々が何をするかと言うと、市と密接に関わりを持ちながら、情報を集めて、その中でできることを考えざるをえない。

委 員) 新しい図書館を実現させるためにはどのような意見を言い、どのような取り組みが必要なのか、見えるものが欲しいと思う。

委 員) 読み聞かせボランティア仲間で「明日の伊賀市図書館を考える会」という活動を行っている。協議会の委員も一緒になって活動いただけたらと思う。市長や議長にも要望書を出したり、懇談会をするなどしている。その中で議員も図書館については必要であるという意見はいただいている。委員のみなさんの知恵もぜひおかりしたい。

委 員) 4年間、まったく同じ議論を繰り返している。新図書館基本計画答申の中で、伊賀市の伝統的な景観を損なうことのないようにという文言があるが、それは改修した時にどのように反映していくのか。外観の部分が配置図面では見えない。その辺りはどのように考えているか。

事務局) 建物自体は残すといった方針は変わっていない。あの外観を守って改修する予定である。内部は使いやすいように改修する。

委 員) 伊賀市民が伝統ある伊賀市らしい景観というものに、旧南庁舎を選んでいるのかということに疑問がある。建物はそのまま使うとしても、意匠的な部分で伊賀市の伝統あるものに近づけていくことは可能であると思う。外観・内装、どういうものを使うか、もっと突っ込んだ設計をしてもらいたいと思う。また、この図面が正式に決まったものでないということになると、そもそもこの図書館協議会で協議する意味がないと思うが、よいものにしようという意見をいただくということではどうか。次の議会でこの図面を提示していくことで間違いないか。

事務局) 用途や配置を崩してしまうことは市としてないだろうと思う。

委 員) 基本設計はどのくらいの経費がかかったのか。

事務局) 約3,400万円である。

委 員) 新図書館基本計画に書かれている内容は反映されているのか。

事務局) 動線も含めて反映させている。

会 長) 検討は十分にしているということですか。

事務局) 図書館として市民サービスに不具合が出ないように利便性と合理性がはかれるよう検討を行った。

委 員) 図書館長は基本設計に参画しているのか。

事務局) 参画している。他の図書館を視察したり、専門家の意見を聞くなどして検討を行った。

委 員) 基本設計についての説明は図書館長がある程度説明できるということですか。

事務局) はい。

委 員) 市民の声として届ける場はあるか。

事務局) 1月28日から市長が出席するタウンミーティングが各地域において開催されるので、そこで意見を述べていただければどうか。

委 員) 在住している地域の開催回で、ぜひとも図書館を早く整備してほしいと意見を述べることとする。

会 長) 当面、図書館協議会として何かをするということは、まだできないであろうと考えられるので、早く進めてほしいということを事務局にお願いしておくということですか。

委 員) 異議なし。

会 長) 本日は、これにて終了。

午前 11 時 30 分閉会